

補助金申請写真撮影の手びき

先進的窓リノベ 2024 事業と子育てエコホーム支援事業の申請には

「施工前」「施工後」の写真提出が必須となっています。

ハッピーコーポレーション（以下弊社）より事務局の審査基準を含めた【写真撮影の手引き】をご案内しますので、内容をご確認いただき写真撮影のご協力をお願いします。

施工前・施工後共通

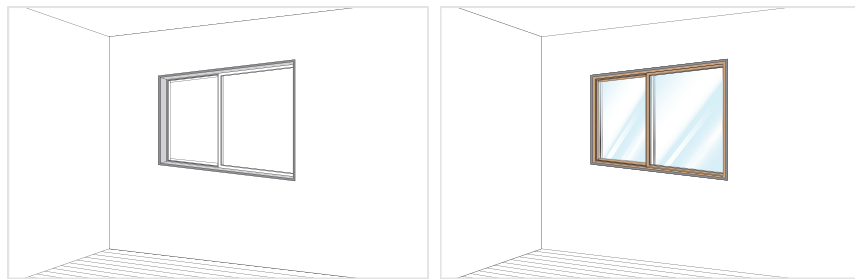
基本的な撮影について

ポイント

1

施工前・施工後写真は可能な限り同じ角度で撮影してください

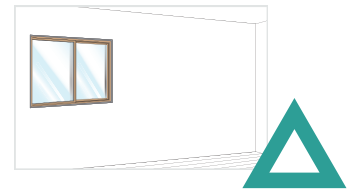
角度が違う場合は、施工前と後で同じ窓である判断が難しくなる事があります。可能な限り同じ角度で撮影をお願いします。



施工前

施工後

違う角度の写真でも完全に NG ではありませんが、写真によっては部屋のイメージが全然違う風に見えてしまう事があります。その場合は施工前と施工後の窓が同じ窓か判定に時間がかかってしまいますので、できるだけ同じ角度での撮影をお願いします。



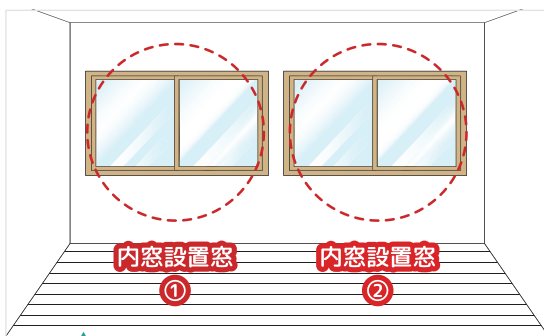
ポイント

2

対象の窓（ドア）1 箇所につき、1 枚の写真を撮影してください

1 枚の写真に複数の窓やドアを収めて撮影されている場合「どの窓（ドア）が補助対象であるか」「何か所の窓（ドア）が補助対象であるか」が判断できない事があります。

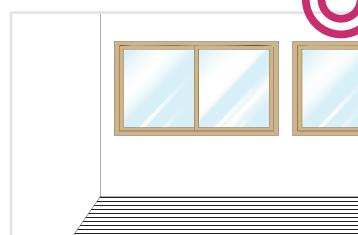
1 枚の写真に複数の窓が写り込んでしまう場合は、申請対象の窓が写真の中心になるように撮影をお願いします。



完全に NG ではありませんが、できるだけ1窓につき1枚の撮影をお願いします

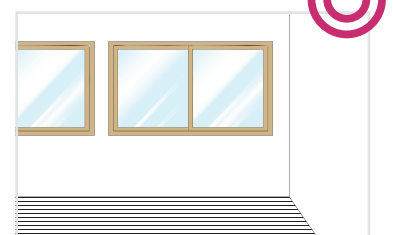
設置した窓の全体を写し、対象の窓が写真の中央になるようにしてください。

内窓設置窓①



①の窓が写真の大体中央になるようにしてください。②の窓の一部が写り込んでも問題ありません。

内窓設置窓②



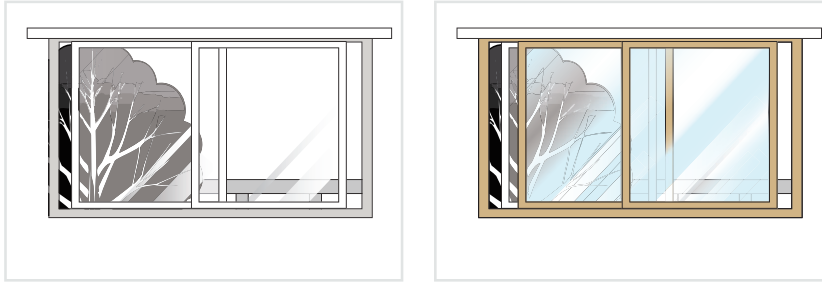
②の窓が写真の大体中央になるようにしてください。①の窓の一部が写り込んでも問題ありません。

ポイント 3

窓の左右を少し開けてください

窓を少し開けて、屋外が確認できる状態で撮影をお願いします。

空や樹木のような、屋外とはっきりわかるものが写っているとベストです。

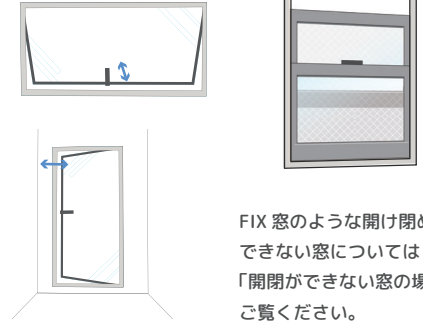


施工前

施工後

引違い窓以外は参考図のように開けてください。
窓の斜めから写して開いている隙間から可能な限り
屋外が写り込むようにしてください。

(参考図)



FIX窓のような開け閉め
できない窓については
「開閉ができない窓の場合」を
ご覧ください。

ポイント 4

日中の撮影をしてください

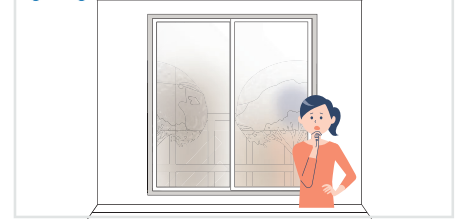
窓によっては、夜間に撮影すると図のように鏡状になってしまい、屋外が写りません。

屋外の写り込みは補助事業対象要件の「外壁に設置した窓」であることの重要な判別基準になるので日中の時間帯に撮影をお願いします。



外が暗くなると鏡のようにガラスに室内が写り込んでしまいます。
夜間は窓を開けても屋外が写りにくい・わかりにくいいため、日中の撮影をお願いします。

× 日中撮影だけどNGのパターン



型ガラスや和紙調ガラスは、日中でも
室内を反射してしまう事があります。
窓の左右を開けて撮影してください。

ポイント 5

窓枠・サッシ枠・室外状況が 4分の3以上見えるように 撮影をしてください

詳しくは「ケース別の撮影方法・注意点」を
ご覧ください。

施工前に写真送付をお願いする場合

弊社では、現場調査前にお客様に現状の窓写真撮影をお願いすることがあります。その際、内窓の手前に家具などがあり「写真撮影の為に動かす事が難しい」場合は、家具がある状態で結構ですので「可能な限り窓枠・外窓サッシがわかるように」撮影をお願いします。
その場合に撮影していただく写真は申請用ではなく、工事前確認としての写真となります。
申請用の写真は施工直前などに、窓まわりの家具等が無い状態で撮影してお送りください。

ポイント 6

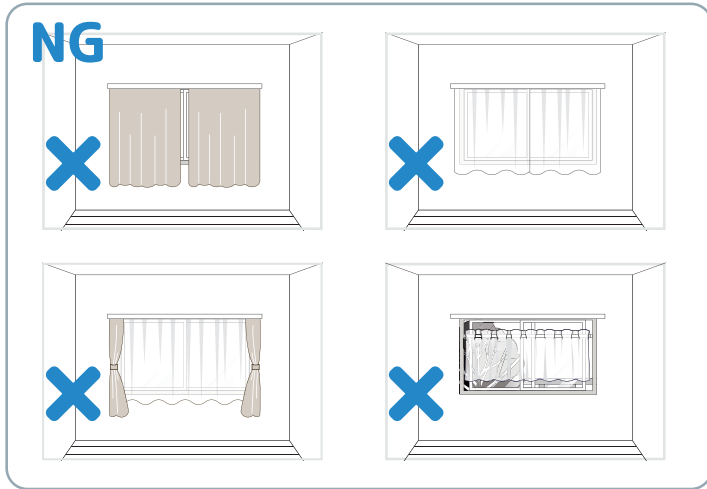
申請用の写真は必ず お客様自身で撮影をしてください

現場調査員・施工業者が写真撮影をする場合がありますが、これは補助金申請用としてではなく、「現場状況の確認」や「施工完了報告」を主な用途とする写真です。

必ずお客様自身での撮影をお願いします。

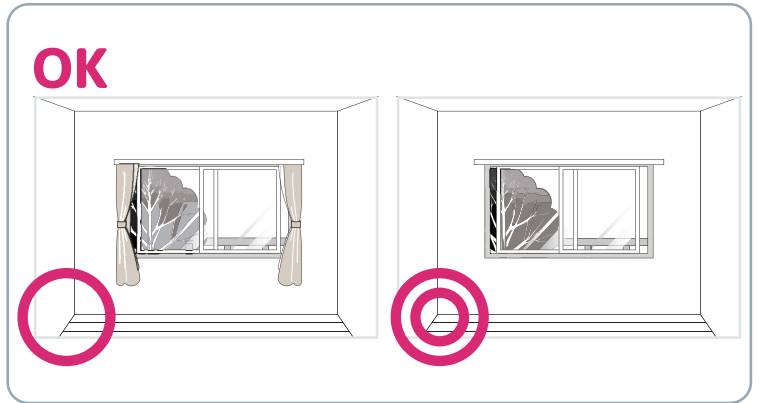
※ ごくまれに現場調査員・施工業者がお客様に確認の上、申請用写真を撮影することがあります。弊社から施工業者に写真の請求をする必要があるので、その場合はご連絡ください。

ケース別の撮影方法・注意点



カーテン・レースカーテン・カフェカーテン

窓・窓枠・室外が4分の3以上見えるようにしてください。



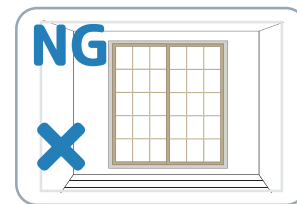
雨戸・シャッター

室外状況が4分の3以上見えるように、雨戸・シャッターを開けて撮影してください。



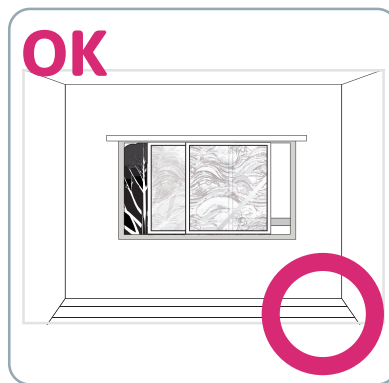
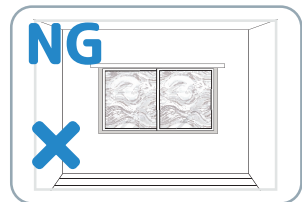
和障子

施工前：障子・外窓サッシ
施工後：内窓・外窓サッシ
両方の左右を開けてください。



フィルムや結露防止シートなどを貼っている場合

窓の左右を開けてください。



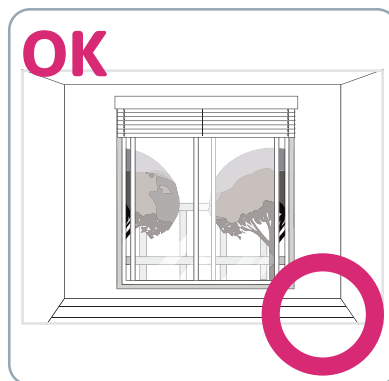
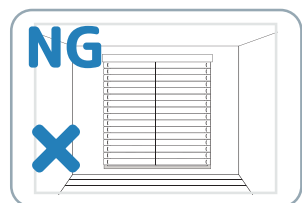
パネル

パネルで窓をふさいでいる時は取り外してください。
取り外しできない場合は事前にご相談ください。



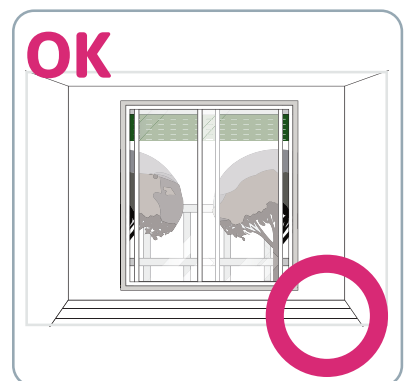
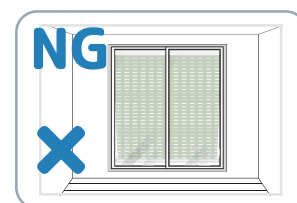
ブラインド ロールスクリーン

窓・窓枠・室外が4分の3以上見えるようにしてください。



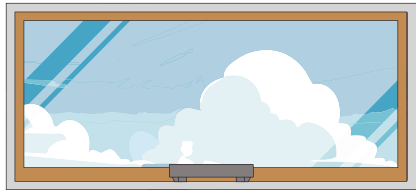
窓の外にある日よけ シェード

室外状況が4分の3以上見えるように、シェード・日よけは巻き上げて撮影してください。



透明ガラス

開閉ができない透明ガラスの窓の場合は、日中に「外にあるもの」や「風景」が写り込むように撮影をお願いします。

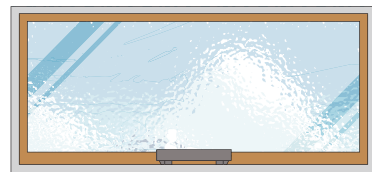


不透明ガラス（すりガラス・型ガラスなど）

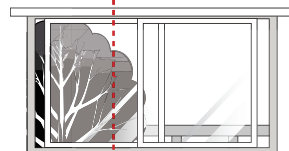
開閉ができない窓で、不透明なガラスの場合は、日中に「外にあるもの」や「風景」のシルエットが可能な限り写り込むように撮影をお願いします。

※事務局より訂正依頼があった時には再撮影依頼の連絡をします。その際はご協力のほどお願い致します。

近くに引違い窓等の開閉できる窓がある場合は、そちらの窓を少し開けて外が写り込んでいる写真をお送りください。



うっすらと雲や樹木（屋外の要素）が確認出来る場合は申請写真として提出します。

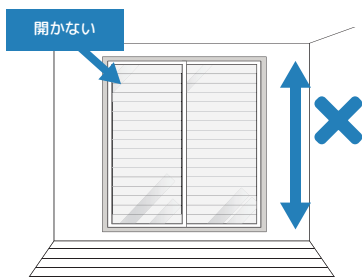


点線部分を撮影してください

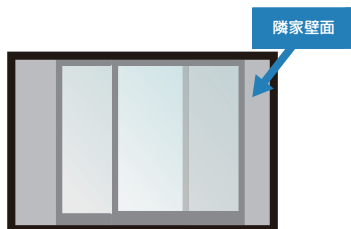
追加資料写真をお願いするケース

以下は室内からの窓写真の他、屋外から家屋外観や設置場所の写真撮影をお願いするケースです。（追加撮影例）家屋外観・内窓設置面を屋外から撮影したもの

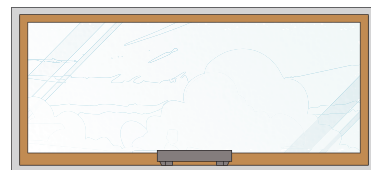
シャッター・雨戸・その他壊れていて開閉できない



隣家の外壁が近く窓を開けても風景が写らない



風景が写らずガラス面が1色になる

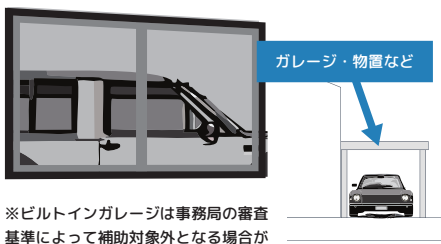


< よくあるケース >

- ・ FIX 窓で型ガラスを撮影した時。
- ・ 狭小地で隣家の外壁が近い時。

車庫・土間・物置に隣接している

前方・後方がオープンになっていて屋外なのだが奥行きがあり、写真には写しにくい場合



※ビルトインガレージは事務局の審査基準によって補助対象外となる場合があります。

バルコニーやサンルームに面した窓

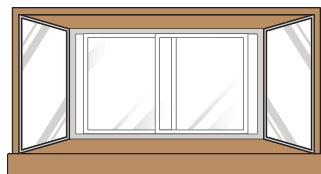
荷物や椅子などがあり、居室のように見える場合や、窓が外壁に設置されているか判断が難しい場合など



※バルコニーの正面・側面がサッシやパネルによって囲まれている場合は補助対象とならない場合があります
 ※サンルームは「後付けの場合のみ」になります。
 ※全面が囲われている場合、事務局の審査基準によって補助対象外となる場合があります。

出窓

2024 年度に追加された要件によるものです。



※出窓の種類によっては補助対象外となる場合があります。
 ※見積り申込み時に「出窓がある」とご連絡いただいているお客様については、事前写真を確認させていただいております。

追加資料写真について

追加の写真は該当するケースによって必要写真が異なります。

こちらのケースに該当すると弊社で判断した場合や、事務局からの確認依頼として提出を求められた際に弊社からお客様に撮影依頼のご連絡をします。その際はご協力のほどよろしくお願い致します。